

第6章 環境配慮はどのようにするのか

1. 市民・事業者・市が主体的に取り組む環境配慮

第4章の「環境施策の展開」では、個別目標を達成するために、市民、事業者、市が取り組むべき事項(実践行動)を整理しました。

環境配慮指針では、市民、事業者、市のそれぞれの主体が、その活動において環境に配慮すべき事項と、各主体が環境保全に対する意識を高め、よりよい環境を保全・創出していくために取り組むべき事項を示しています。

(1) 市民の環境に配慮した行動

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁問題、自動車交通量の増加に伴う大気汚染問題、大量生産、大量消費、大量廃棄によるごみ問題などの都市生活型公害の発生や、地球温暖化をはじめとする地球環境問題などにみられるように、その多くが市民一人ひとりの日常生活に起因しています。このため、市民自らが日常生活に起因する環境への負荷に対する認識を深め、環境に配慮した日常生活に変えていくためにはどうすればよいかを学び、環境の保全に向けた日常的な取組みを実践していくことが求められます。

ここでは、市民一人ひとりが日常生活において、特に、節水・節電など省資源や省エネルギーに対して取り組むべき配慮を、生活と関わりのある主な場所や場面ごとに示します。

① 家庭でできる環境配慮

ア. キッチンでは

- 地元で採れた旬の食材を使いましょう。
- 料理は適量を作りましょう。
- ガスコンロの炎は、やかんや鍋の幅内に収まるように調整しましょう。
- 鍋等の水滴は拭き取ってから火にかけましょう。
- バーナーが目詰まりしないよう日頃から手入れしましょう。
- 電気ポットでの長時間の保温は控えましょう。
- 電気炊飯器での長時間の保温は控え、食べる前に温めましょう。
- 圧力鍋や保温鍋などは、効率よく使いましょう。
- 冷蔵庫の扉を開ける時間と回数を減らしましょう。
- 熱いものは、冷ましてから冷蔵庫に入れましょう。
- 冷蔵庫は日光の当たらない場所に置き、周囲には少し隙間をあけて置きましょう。
- 換気扇の汚れは、日頃からこまめに落としましょう。
- 揚げ物は少ない油で揚げましょう。また、さし油をして利用しましょう。
- 揚げ物に使ったあとの油は、炒め物などに再利用しましょう。
- 油ものを拭き取るなどして、極力少ない洗剤の使用に努めましょう。
- 油を排水口に流さないようにしましょう。
- 洗剤の使用量は控えめにしましょう。

ア. キッチンでは(つづき)

- 環境に優しい洗剤を利用しましょう。
- 食器洗いのお湯の温度は、低めにしましょう。
- 蛇口の水量を適量に調節しましょう。
- 米のとぎ汁などは、植物の水やりに利用しましょう。
- 無洗米など、新しい技術を試してみましょう。
- ラップは使わず、保存容器を使いましょう。
- ペーパータオルなどの使用は控えましょう。
- ごみの分別は、ルールに沿って、行いましょう。
- 生ごみなどを排水溝に流さないようにしましょう。
- 生ごみの堆肥化を進めましょう。
- 生ごみを出すときは、よく水分を切りましょう。
- ちょっとした工夫やアイデアを広めましょう。
- 植物油のリサイクルに協力しましょう。
- ガス、電気の使用量を減らす工夫をしましょう。



イ. リビングや居室では

- 外の風を取り込み、冷房は控えましょう。
- カーテンやブラインドをうまく使って、室温を効率よく調節しましょう。
- エアコンの設定温度は控えめ(冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下を目安)に設定しましょう。
- エアコンのフィルターは、こまめに掃除しましょう。
- エアコンの室外機は、風通しがよい、直射日光の当たらない場所に置きましょう。
- 電気カーペットは、アンダーカーペット※などを使って熱効果を高めましょう。
- 電気カーペットの面積切り替え機能をうまく使しましょう。
- 電気こたつは、掛け布団や敷き布団で保温性を高め、効率よく使しましょう。
- 照明は、蛍光灯(できればインバーター※の蛍光灯)を使いましょう。
- 電球や照明器具の汚れを拭き取り、明るさを保ちましょう。
- 照明は必要な明るさに落として、部分照明にするなど場所に合った器具を使い分けましょう。
- テレビのつけっぱなしはやめましょう。
- テレビやビデオなどのスイッチを切るときは、主電源から切りましょう。
- 充電器や充電用の電源アダプターのコンセントは、充電時以外は抜きましょう。
- おしぼりや台拭きなどの代わりに、ティッシュペーパーを使うことは控えましょう。
- 使用時間が短い育児用品、旅行用品、初体験のスポーツの道具などは、レンタル(リース商品)を上手に利用しましょう。
- まだ使える不要品は、フリーマーケットやバザー※など、再利用に努めましょう。
- 物を大事に長く使い、再利用する心を子どもに伝えましょう。

アンダーカーペット	暖房の効率を上げるために電気カーペットなどの下に敷く断熱マットのことをいいます。電気カーペットを床に直に敷くと、熱が床へ逃げるので、カーペットの下に断熱マットなど敷くと、暖房効率が良くなります。
インバーター	電気の直流電流を機器に最適な周波数に変えて効率的な運転ができる装置(周波数変換器)のことをいいます。インバーター式の照明は、すぐに点灯する、明るい、ちらつきがないなどの特長があり、むだに電気を使うことなく効率的な運転ができるので省エネ効果があります。
バザー	品物を持ち寄って売る催しのことをいいます。

ウ. 洗濯や掃除のときは

- 洗濯物と洗剤は、適量を守りましょう。
- 汚れやシミはすぐに処置して、洗剤の使用量を減らしましょう。
- 蛍光剤※や合成界面活性剤※の入った洗剤の使用を控えましょう。
- 洗濯機では、すすぎの前に脱水をかけて、節水しましょう。
- 洗濯機では、「注水すすぎ※」よりも「ためすすぎ※」を実行しましょう。
- 洗濯には、洗浄力が高く洗剤の使用が少なくすすむ残り湯を使用しましょう。
- 掃除機をかける前に部屋を片づけて、使用時間を短縮しましょう。
- 掃除機のフィルターは、きれいにして使いましょう。



エ. 洗面所やお風呂、トイレでは

- 節水こまを使用したり、元栓を少し閉めるなどの工夫をしてみましょう。
- 歯磨きやシャンプー中は、蛇口やシャワーを止めましょう。
- お風呂は間をあげずに、続けて入りましょう。
- お風呂からあがるときはふたをし、保温に努めましょう。
- シャワーやかけ湯するときは、流しっぱなしに気をつけましょう。
- 自然にかえりやすい洗剤などを使いましょう。
- シャンプーやリンス、ボディソープなどは控えめに使いましょう。
- お風呂の残り湯は、有効に再利用しましょう。
- トイレの流し水は、大小の水量を使い分けて節水に努めましょう。
- 使用水はこまめに調節しましょう。

蛍光剤	紫外線を吸収して目に見える青色の光に変える性質により、衣類などをより白く見せるために使われる化学物質のことをいいます。河川に流れだすと分解されにくいなどの問題があります。
合成界面活性剤	液体の表面張力を低下させ、水と油などを馴染ませる性質により洗剤などに使われる化学物質のことをいいます。アルコールや石油成分などから合成され、河川に流れだすと分解されにくいなどの問題があります。
注水すすぎ	給水しながら水をあふれさせてすすぐ方法のことをいいます。水をたくさん使います。
ためすすぎ	洗濯槽にためた水だけですすぐ方法のことをいいます。水が少なくてすみます。

オ. 家の周辺では

- 花や緑を増やしましょう。
- 雨水をためて、水やりや打ち水などに使しましょう。
- 駐車スペースや庭は、水が地面にしみこむように、土や透水性の高いものを使用しましょう。(必要な部分だけ石を置くなど)
- 洗車するときは、水や洗剤の使用を少なくしましょう。
- 殺虫剤や除草剤の使用を控えましょう。
- 家のまわりの水路や草むらの動植物に気をくばり、身近な生物環境を守りましょう。
- ごみは、ルールを守って出しましょう。
- 地域のごみステーションは、きれいに保ちましょう。
- 出したごみが動物などに荒らされないようにしましょう。
- 草や落ち葉など、堆肥化を進めましょ

カ. 地域の活動では

- 地域の環境保全活動を企画・推進してみましょ。
- 地域での環境学習や環境イベントに、積極的に参加しましょ。
- 地域の清掃活動や緑化活動に、積極的に参加しましょ。
- 地域の公園や神社など、緑や憩いの場所を大切に利用しましょ。
- 地域の環境資源(雰囲気の良い場所、動植物の多い場所など)を見つけて、地域で守りましょ。
- みんなで美しい景観や、快適な環境をつくるまちづくりを推進しましょ。



キ. 家を造るときは

- 夏涼しく、冬暖かい間取りや構造、素材を採用しましょう。
- 電気機器の設置は、効率のよい使い方ができるようなレイアウトを工夫しましょう。
- まちなみなど、周囲の景観に配慮した、材質、デザインを採用しましょう。
- 庭木や生け垣、花壇などの花や緑をできるだけ取り入れましょう。
- 雨水をためて、庭の打ち水や植木の水やりに使うなど、節水できる仕組みを工夫しましょう。
- 太陽熱温水器や太陽光発電など、自然エネルギーを利用した仕組みを採用しましょう。
- 市や県、国の環境関連補助制度[※]等を有効に活用しましょう。
- 下水道などを利用するか、合併処理浄化槽を設置しましょう。
- 排水の処理に気を配りましょう。
- 地元の木材を活用して、住環境をうるおす工夫を進めましょう。

② 出かけるときにできる環境配慮

- 自家用車よりもバスや電車、近くなら自転車や徒歩で出かけましょう。
- 車の運転時は急発進、急加速、空ぶかしは避けましょう。
- 短時間の駐停車時にもエンジンを止めましょう。(アイドリングストップ)
- 騒音や黒煙を出さないよう、車やバイクのエンジンは、環境に適した整備をしましょう。
- 渋滞や事故を招く路上駐車はやめましょう。
- 市ポイ捨て等防止条例[※]を守り、タバコや空きカンのポイ捨て、犬のフンの放置などはやめましょう。
- ポイ捨てなどを見かけたら、他人の子どもでも注意するなど、環境教育に努めましょう。
- 遊園地や公園など、出かけた先で出たごみは持ち帰りましょう。



環境関連補助制度 環境に関連する取組みに対して自治体が行う補助制度のことをいいます。太陽光発電設備や生ごみ堆肥化容器、合併処理浄化槽の設置に対する補助金制度などがあります。

市ポイ捨て等防止条例 平成12年(2000年)3月に中津川市で施行された、中津川市における空きカンなどの散乱やふん害の防止、環境美化の促進などの、清潔で美しいまちづくりを推進する条例のことをいいます。

③ 買い物するときにはできる環境配慮

ア. ごみの出ない買い物をする

- 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにしましょう。
- 買い物は、必要なものだけを買きましょう。
- 詰め替えがができる商品を買きましょう。
- 食品に付いてくる割り箸やスプーンなどで、必要のないものは受け取らないようにしましょう。
- 丈夫で長持ちするものを買きましょう。
- 二重の包装等、過剰な包装は断りましょう。
- 食品などは、ばら売り※、裸売り※の商品を買うよう心がけましょう。
- 流行に左右されない、飽きのこないものを買うように心がけましょう。
- 使い捨ての商品は、なるべく買わないようにしましょう。
- 布おむつの良さを見直し、紙おむつと使い分けましょう。



イ. 環境負荷の少ないものを買う

- エコマーク※商品など、環境にやさしい商品を買きましょう。(グリーン購入)
- オゾン層の破壊や地球温暖化に配慮した製品を選びましょう。
- 自動車はできるだけ低公害車や低燃費車、ハイブリッドカーなどを選びましょう。
- 電気機器は、できるだけ省エネルギータイプの製品を選びましょう。
- 自然にかえりやすい素材の製品を選びましょう。

ばら売り	まとめて包装せずに、ばらばらに単品で売ることをいいます。必ずしも包装されていないとは限りませんが、必要数だけ購入することができます。
裸売り	トレイ、パック、袋といった包装をせずに、1やま(かご)何円とか、グラム何円とか、そのまま売ることをいいます。不要な包装が減らせます。(入れ物を持参すれば、包装は一切不要となります。)
エコマーク	財団法人日本環境協会が認定した、環境への負荷が少なく、環境保全に役立つ商品につけられるマークのことをいいます。(P70 参照)

ウ. リサイクルに協力する

- ビールやお酒のビンといったリターナブル製品^{*}はごみとして出さず、正規の資源回収ルートに出しましょう。
- 新聞紙や、段ボール、紙箱・雑誌類は分別して、資源回収に出しましょう。
- 牛乳パックや白色トレイは、ルールに従い、リサイクルしましょう。
- ペットボトル、ビン類、カン類は、ルールに従い、「資源ごみ」に出しましょう。
- テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、パソコン等は、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」や「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」に従い、リサイクル処理に出しましょう。



④ 学校でできる環境配慮

- 休み時間は、教室の電気を消しましょう。
- 手を洗うときは、水を出し過ぎないようにしましょう。
- 給食は残さず食べましょう。
- 道具や器具などは、大切に使いましょう。
- 文房具は、エコマークなどの付いた環境に優しい商品を使いましょう。（グリーン購入）
- 使い捨てのものはなるべく使わないようにしましょう。
- 通学途中の自然環境に目を向けましょう。
- 学校の周りの美化を、推進しましょう。
- ごみ拾いの活動に積極的に参加しましょう。
- 花や緑を増やしましょう。
- 物の再利用を教えましょう。
- 植樹体験などの機会を多くもって環境づくりを体験しましょう。
- 学校から出るごみは分別し、減量と資源化に協力しましょう。
- 裏の白い紙は、もう一度利用してから資源ごみ回収に出しましょう。
- 市のごみ処理の方法や、リサイクルについて学習しましょう。
- 子どもエコクラブなどの活動に、進んで参加しましょう。

^{*}リターナブル製品：一升ビンやビールビン、牛乳ビンなどのように、洗って繰り返し使用できる容器（リターナブル容器）を使用した商品のことをいいます。

(2) 事業者の環境に配慮した行動

事業者は、すべての事業活動において、環境への負荷の低減に向けて自主的に取り組み、環境に配慮した事業活動を推進していくことが求められます。また、就業者においては、事業者と一緒に環境に配慮した事業活動を実践するとともに、職場の中で身近にできる環境への配慮にも取り組むことが求められます。

当市では、第1次産業から第3次産業までさまざまな事業活動が行われていますが、ここでは各事業活動に共通した、取り組むべき環境への配慮項目を示します。

ア. 省エネルギーに努めましょう

- 外気の取り込み、ブラインドやカーテンの調節により室温の調整を行い、冷暖房を控えましょう。
- エアコンの設定温度は控えめ(冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下を目安)に設定しましょう。
- エアコンのフィルターや換気扇は、こまめに掃除しましょう。
- パソコンやコピー機が過熱しないように、風通しの良いレイアウトにしましょう。
- 照明はこまめに切り、人が少ない場合は部分的な照明に努めましょう。
- 電気機器はこまめに電源のオン・オフを行い、待機電力を消費する機器は、主電源を切るかコンセントからプラグを抜きましょう。
- オフィス機器の購入の際には、省エネルギー型製品を選びましょう。
- 新エネルギーの積極的な導入や、コージェネレーションシステム、蓄熱式空調システム(エコアイス等)など、効率的なエネルギー利用に努めましょう。

イ. 資源の有効利用とグリーン購入に努めましょう

- 節水、コピー用紙の裏面使用、封筒の再利用などを心がけ、資源の有効利用を進めましょう。
- コピー用紙などの紙類は、再生紙を使用しましょう。
- 修理できるものは修理して、できるだけ長く使用しましょう。
- エコマークやグリーンマークのついた製品や、再生可能な材料で製造された製品などを購入(グリーン購入)しましょう。
- 文具などをよく整理し、まだ使えるものはみんなで使いましょう。

ウ. 廃棄物の排出抑制と適正処理に努めましょう

- 事業活動に伴い排出される廃棄物の減量化を図るとともに、リサイクルに努めましょう。
- 使い捨て製品(紙コップや紙皿等)の使用や購入を控えましょう。
- 産業廃棄物の処理は、環境への負荷を少なくするために適正に処理し、管理を徹底しましょう。
- 規制を守るだけでなく、さらなる環境配慮に取り組みましょう。
- 住宅を解体するときは、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)を守り、適正な処理をしましょう。
- 廃棄物の資源回収を促進するとともに、他産業との連携も考慮したゼロエミッション*を目指しましょう。

エ. 環境との共生を目指し、地域環境へ貢献しましょう

- マイカー通勤の自粛を呼びかけ、ノーマイカーデー*や相乗りを実施しましょう。
- できるだけ公共交通機関等による移動を心掛けるとともに、社用車の効率的な利用を図り、環境負荷の低減に努めましょう。
- 不必要なアイドリングをやめ、エコドライブを実行しましょう。
- 社用車は低公害車や低燃費車、ハイブリッドカーなどの導入に努めましょう。
- 社用車は安全運転に努めるとともに、騒音や黒煙を出さないよう点検・整備を十分に行いましょう。
- 渋滞や事故を招く路上駐車はやめましょう。
- 地域の道路環境に配慮した車両の運行に努めましょう。
- 市民や市民団体の環境保全への取り組みや行政の環境保全施策に、積極的に参加・協力しましょう。
- 施設の建設等に際しては、周辺の景観や環境に配慮しましょう。
- 敷地内にできるだけ多くの花や緑を植えるなど、緑化を進めましょう。
- 騒音、振動、悪臭等の発生防止と対策に努め、日照障害*、電波障害*、光害*にも配慮しましょう。
- 通風、断熱、雨水浸透などに配慮した環境共生型の施設にしましょう。

ゼロエミッション	資源の使用効率を高めて、廃棄物の排出ゼロ(zero zero emission 排出)を目指す考え方のことをいいます。使用した原材料のすべてを製品にする、排出物や副産物を他の製品の原材料として使用するなどの取り組みがあります。
ノーマイカーデー	エネルギーの節約や渋滞の解消などのために、通勤時のマイカー利用などを控え、公共交通機関や自転車を利用する日のことです。
日照障害	ビルやマンションといった高い建築物などによって、日照が妨げられることをいいます。高い建物などにより、社会生活上耐えうる限度を超えて日照が妨げられることなどがあります。
電波障害	遮蔽物によって、電波を受信しにくくなることをいいます。高い建物や送電線などにより、テレビやラジオ電波の地上波を受信しにくくなることなどがあります。
光害	ネオンや街灯などの照明による光の公害。動植物(野生動植物の生態、農作物や家畜の成育など)や人間の諸活動(天体観測、居住者の睡眠など)に悪影響を与えるとともに、省エネルギーの観点からも問題となっています。

オ. 環境配慮のシステム化を図りましょう

- 環境マネジメントシステム(ISO14001 等)の構築に取り組みましょう。
- 環境会計[※]や環境報告書[※]により、環境保全への取組みについて、消費者への情報公開を進めましょう。
- 従業員の環境保全意識の高揚を図りましょう。
- 製品の開発設計においては環境負荷分析[※](LCA:Life Cycle Assessment)を実施し、製品が環境に与える影響の低減と廃棄物の減量に努めましょう。
- 環境ラベル[※]等による製品情報を、消費者へ積極的に提供しましょう。
- 情報通信ネットワーク[※]を活用した、効率的・効果的な事業活動に努めましょう。



環境会計	公害防止や廃棄物処理などの環境対策に投じた費用とその結果として生じた省資源などの節減効果を金額で表して、対比する方法のことをいいます。
環境報告書	事業者などが事業活動を行うときの、環境保全に関する方針や目標、計画、環境負荷の低減に向けた取組みの状況などを取りまとめてつくられる報告書のことをいいます。この結果を公表することで、消費者や地域住民などの環境に関するコミュニケーションの手段となります。
環境負荷分析	製品が、原料を採取してつくられてから廃棄されるまでに、環境に対してどのようにどの程度影響するかなどの、製品の環境への影響を評価するための方法のことをいいます。この結果を公表することで、生産者及び消費者が材料や製品を購入する場合の判断材料になります。
環境ラベル	製品やサービスの環境に関する情報を、製品やパッケージ、広告などを通じて、消費者に伝えるマーク(文言、シンボル又は図形、図表等)のことをいいます。
情報通信ネットワーク	電話やコンピュータといった、お互いに有線(ケーブル)、無線その他の方法により接続された通信網のことをいいます。